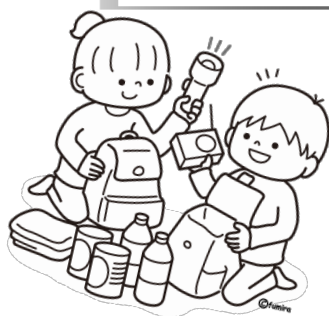


大鋸小コミスク通信

2026 年 1 月 吉日

＜発行元＞大鋸小学校学校運営協議会



《 地域の実際に即した学校防災とは 》

現在、大鋸小学校学校運営協議会では学校防災について協議を行なっています。災害を避けることはできない国、日本。いつ起こるかわからない災害だからこそ備えが必要です。では、大鋸小学校の備え、防災教育は万全なのか？2023 年に教職員が受けた防災研修をきっかけに、大鋸小学校の学校防災の見直しがスタートしました。

* 大鋸小学校運営協議会については大鋸小学校ホームページをご覧ください⇒



避難訓練の見直し

様々な状況を想定し、「どこで」「どのように」身を守るかを考える訓練に変更

保護者・教職員へアンケート実施

児童引き取りにかかる時間や従事職員数の把握

見えてきた課題

防災用備蓄とその管理

現状、本校児童全員に配当できる物資は 500ml の水 1 本のみ。防災用食料やトイレ等の備蓄の検討が必要。

➡ PTA との協働

中学校・地域との連携

児童生徒の安全確保のための共通理解

➡ 共に学ぶ機会

『避難所を運営する人も避難者も被災者であり、避難者はお客様ではない』

奇しくも 7 月 30 日カムチャツカ半島地震による津波警報発令により、地域によっては小学校、中学校が避難所となりました。大鋸地区は津波の影響がないため、避難所開設は行いませんでしたが、各所での様子を伺うに新たな問題点も浮き彫りになってきているようです。防災について『子どもと家庭・小学生と中学生・学校と地域が共に学ぶ機会』が増えれば増えるほど、安心・安全・安定した避難所運営が期待できるのではないのでしょうか。今後も学校運営協議会では、防災について協議を続けます。地域の方で防災について詳しい方がいらっしゃいましたら、お知恵をご教授いただければ幸いです。

* ご連絡は komisuku.daigiri@gmail.com



まで